

<p>【技術の名称】 奥村式ハイブリッド梁構法 -端部RC中央S梁構法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第21-13号 性能証明発効日：2022年2月17日</p> <p>【取得者】 株式会社奥村組</p>
---	--

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート造の柱（RC柱）または基礎（RC基礎）と鉄骨造の梁（S梁）からなる混合構造の梁において、その構造形式を鉄筋コンクリート造から鉄骨造に変化する接合方法であり、S梁の端部を鉄筋コンクリート梁（端部RC梁）に埋め込み、直列的に結合する。埋め込み部のS梁にはリブプレートを用いることを選択でき、梁主筋端部に機械式定着具を用い、切替部集中補強筋は中子筋を含めて溶接閉鎖型筋を用いることを特徴としている。

【技術開発の趣旨】

一般に、鉄筋コンクリート部材に鉄骨部材を埋め込み、直列的に結合する場合、鉄骨部材の埋め込み長さは鉄骨せいの2.5倍以上とされている。本構法では、鉄骨設置や鉄筋配筋に配慮した独自の補強形式で切替部を重点的に補強することで埋め込み長さを2.0倍以上とすることができ、変形性能を確保しながら端部RC梁の長さを短くすることを意図して開発された。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「奥村式ハイブリッド梁構法設計施工指針」に従って設計・施工された端部RC中央S梁（ハイブリッド梁）は、長期荷重時に使用上支障のあるひび割れ、および短期荷重時に修復性を損なうひび割れを起こさず、同指針で定める終局耐力および変形性能を有する。

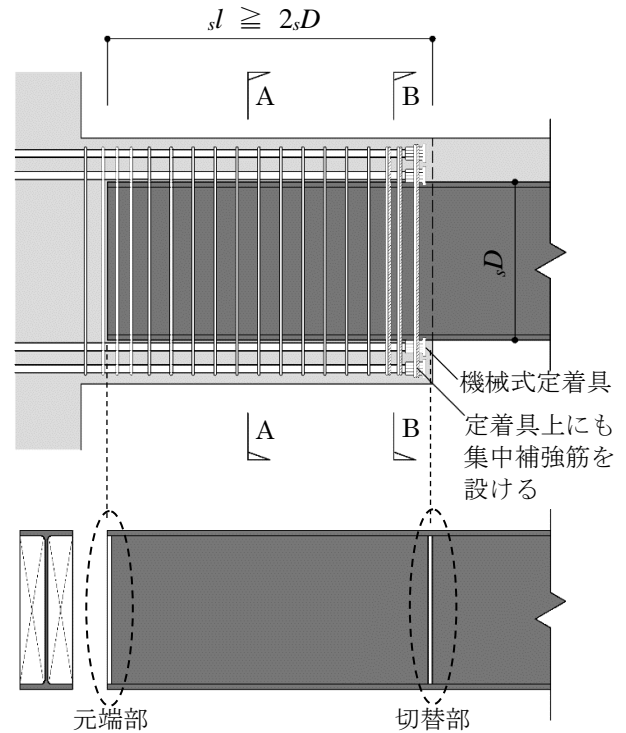


図1 リブプレート設置位置と形状

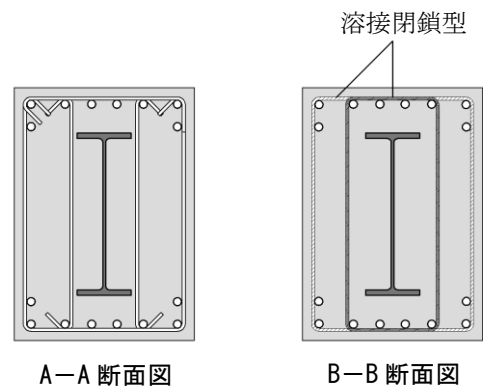


図2 本構法の構造概要

【本技術の問合せ先】

株式会社奥村組技術研究所 担当者：山上 聡
 〒300-2612 茨城県つくば市大砂 387

E-mail：satoshi.yamagami@okumuragumi.jp
 TEL：029-865-1833 FAX：029-865-1522